

2021年8月6日

各位

会社名 佐世保重工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 名村 建介  
問合せ先 総務部長 廣津 忠  
(Tel 0956-25-9111)

「2022年3月期第1四半期連結決算および当社事業再構築の状況」に関するお知らせ

当社グループの2022年3月期第1四半期連結決算について下記のとおりお知らせします。

記

1. 当第1四半期連結決算の状況（2021年4月1日～2021年6月30日）

(1) 損益状況

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2022年3月期 第1四半期	7,260	595	615	▲149
2021年3月期 第1四半期	7,326	▲764	▲831	▲841

(2) 売上高のセグメント別内訳

(単位：百万円)

	新造船	艦艇修繕船	機械	その他	合計
2022年3月期 第1四半期	4,451	2,193	477	137	7,260
2021年3月期 第1四半期	6,075	334	765	151	7,326

(注) 百万円未満を切り捨てて表示している。

2. 当社事業再構築の進捗状況および当第1四半期の業績について

(1) 事業再構築の進捗状況

当社は本年2月12日開催した取締役会において、新造船事業の休止と艦艇修繕船事業および機械事業への経営資源の集中を柱とした事業再構築案と事業再構築に伴う希望退職者の募集を決議いたしました。

事業再構築計画に基づき、2022年1月の新造船最終船引渡に向けた作業は親会社である株式会社名村造船所の協力により順調に進んでおり、希望退職者は250名の募集に対して248名が応募、艦艇修繕船事業および機械事業への経営資源の再配分につきましても新造船事業部門からの配置転換や両事業への設備投資など予定通りに進捗しており、全社的な固定費圧縮などの検討も進めております。

新造船事業の休止並びに希望退職者の募集という非常に大きな決断を致しましたが、引き続き今般の事業再構築を確実に実行し、早期黒字化と安定収益体制の構築に取り組んで参ります。

## (2) 当第1四半期の業績等

当第1四半期連結累計期間の売上高は、新造船事業や機械事業においては減少したものの、艦艇修繕船事業において国内艦艇の定期検査工事2件が完工したことにより大幅な増収となった結果、7,260百万円と前年同期(7,326百万円)と同水準となりました。

損益面では、新造船事業における円安効果や艦艇修繕船事業における売上高増加などにより、連結営業利益は595百万円(前年同期は764百万円の営業損失)、連結経常利益は615百万円(前年同期は831百万円の損失)と大幅に改善されて2019年3月期第1四半期以来の黒字化を達成いたしました。希望退職者の募集に関わる費用を特別損失として計上した結果、親会社株主に帰属する当期純損失は149百万円(前年同期は841百万円の純損失)となりました。

引き続き全社を挙げて事業再構築に取り組み、早期黒字化の実現に取り組んで参ります。

以 上

**【問い合わせ先】**

佐世保重工業(株)  
総務部長 廣津 忠  
(0956-25-9111)